



まごころ

感覚過敏について



自閉症圏の障害特性のひとつに、「感覚過敏」があります。例えば「耳ふさぎ」に代表される「聴覚の感覚過敏」のある人には、私達が普段気にならない音でも、とてもうるさく聴こえたり、不快に聴こえたりしているのです。

見た目にはわからないのですが、「感覚過敏 (特異さ)」がある方は、日常生活の中で多くの不快な刺激にさらされており、苦しんでいる事があります。

「聴覚過敏」についてはよく知られていますが、他にも視覚、嗅覚、触覚、味覚などにも過敏さがある場合が少なくありません。

こうした過敏さは生まれつきの体質なので簡単には改善することはできませんが、例えば視覚過敏の場合はサングラスをかける、触覚過敏の場合は服についているタグを取るなどの工夫をすることで軽減することができます。

感覚の過敏さの例

- ・聴覚過敏・・・掃除機の音、赤ちゃんの泣き声などが嫌い、人ごみの中だとイライラする、等
- ・視覚過敏・・・蛍光灯の光が嫌い カメラのフラッシュが怖い、等
- ・触覚過敏・・・靴下や帽子が嫌ですぐに脱ぐ、爪切りや耳かきが嫌い、等



←「アスペ・エルデの会」が発行している冊子。感覚過敏についてとてもわかりやすく解説されています。児童デイに置いてありますので興味のある方はご覧下さい。

サービス提供責任者の役割

訪問介護の分野で、サービス提供責任者(以下：サ責)の果たす役割は大きい。法令上は、利用申し込みに係わる調整、ヘルパーへの技術指導、訪問介護計画の作成等を行うが、規定以外の業務も多い。まごころでは、5人のサ責が請求・給与の計算管理業務までこなしており、また自らもケアやピンチケアに走り事務局員として日々忙しく働いている。

サ責の役割の中で、コーディネーター(調整役)としての仕事が一番難しく、①利用者の隠れたニーズを把握し、必要なサービスを過不足なく提供する。②その業務に必要な力を持つヘルパーを選び、業務が軌道にのるよう支援する。③家族や他機関・他職種との調整を行う。

力量に合わせた業務配分は特に重要で、ケアが入っても新人ヘルパーにふれるとは限らずこの点で人員不足の場合、依頼されたケアを受ける受けないの判断も即必要となってくる。最近、ヘルパーの質以外にも「犬嫌い」「タバコアレルギー」等でケアを代わりたいたいということが起きたりしている。サービス内容だけでなく、利用者の環境・嗜好までも把握してコーディネートをしなくては失敗のもとになると反省させられる。

次回からは、まごころのヘルパー活動を紹介する「ヘルパーだより」を連載します。お楽しみに！



日本語おもしろい

坪内忠太著 新講社より

◇なぜ、別れる時の挨拶は「さようなら」か？

「さようなら」を漢字で書くと「左様なら」「然様なら」である。もともとは武士の言葉で、訪問先を辞する時、「左様(然様)ならば、おいとま申す」といっていた。その後半が省略され「左様なら」だけが残ったのである。



心づれづれ



私流ストレス解消法

3.11以来、様々な心配事が心に渦巻いて、不安定な日々を送っています。私はストレスに弱いタイプなので、そろそろ危ないな、と察知すると先手を打ち、好きなことを始めます。

それは映画を観に行ったり、音楽を聴きに出かけたり、おひとり様ランチを楽しんだり、ということが多いのですが、出費も不要で一番効果的なストレス解消法は、叩くことです。

いえいえ、壁やサンドバックを叩くわけではありません。テーブルの上に電話帳やゴム板を敷いて、ドラムスティックで叩くのです。とりわけ効き目があるのがルーディメンツ

(鼓笛隊の小太鼓を叩く基礎練習)です。最初はゆっくり始めますが、なかなか楽譜どおりにはできません。しかし、練習すればするほど進歩します。無心になって叩き続けると初日より2日目、1週間、1ヶ月と確実に打てるようになってきます。こんなに進歩が見える課題はありません。

家人は私が黙々と叩き続けていると、同情とも困惑ともつかない顔をして、そっとしておいてくれます。疲れて仕事から帰ってきて、ドコドコ夜中に叩かれて、さぞ煩わしいでしょう。でも我慢強い人で一度も文句を言われたことはありません。

ストレス解消に一番貢献してくれているのは黙って見守ってくれる家人ですね。文章を書いているうちに気づきました。感謝しています。

伊藤 優子

ミニデイだより



朝の会話

まごころのミニデイは9:30から始まります。「おはようございます」の後に、利用者さん同士、話に花が咲きます。

着物の柄集をみながら、「きれいねー」「お嫁に行かれた時はこんな着物着られたんですか?」「着た着た。色打掛着たよ」「私は裾模様のついたの」「うちの嫁さんはウェディングドレスだった」「ええ〜、当時は珍しかったんじゃない?」と盛り上がっていると思いきや、お祭りの話になり、いつのまにかシラミの話にまで……。どうい話しの流れでシラミの話になったの??と、大笑いでした。

「来週から1〜2週間入院するから、好きなもの食べたいわ」とOさん。リクエストをして下さったので、厨房担当スタッフは腕によりをかけて作ります。「まごころさんでは、こうやってわがままをきいてもらえるから、嬉しいわ」そういっていただくと、こういうことであれば、どんどんわがままを言って頂きたくなるミニデイスタッフです。



古くなったミニデイの看板をリニューアルすることにしました。目下作製中!

